

## △パルミコートタービュヘイラー [外]

【重要度】 【一般製剤名】 プデソニド (U) Budesonide 【分類】 吸入ステロイド剤

【単位】 ▼100  $\mu\text{g}/1$  吸入 [1本 11.2mg, 112回分]・△200  $\mu\text{g}/1$  吸入 (1本 11.2mg, 56回分)

【常用量】 1回 100~400  $\mu\text{g}$  [1日最大 1600  $\mu\text{g}$ ]

【用法】 1日2回

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 添加物やフロンフリーのドライパウダー製剤。肺到達率は約 30%と優れている。成分であるプデソニドは強い局所抗炎症作用を持ち全身作用との分離に優れたステロイド。

【主な副作用・毒性】 咽頭痛、嗝声、嘔気、咳、血管浮腫、咳嗽、口腔内カンジダ症、抑うつ、行動障害、不眠など

【モニターすべき項目】 副腎機能、小児における成長・発達、吸入技術、肺機能

【吸収】 肺への到達率は30% (1)

【F】 40% [吸入] (1) 13% [po] (1)

【tmax】 吸入後 5~10min (1,11)

【代謝】 CYP3Aにて水酸化される (1) 主代謝物 16 $\alpha$ -ヒドロキシプレドニゾン及び6 $\beta$ -OH体の活性は未変化体の1%未満 (11)

【排泄】 尿中に未変化体は検出されない (1) 代謝物として尿中に70%排泄 [吸入] (11)

【CL】 0.9~1.4L/min (11) 1.2 $\pm$ 0.1L/min [iv] (1)

【t1/2】 約2hr (1,11) 2~2.7hr (12) 2~3hr (U)

【蛋白結合率】 90% (1) 88% (12)

【Vd】 静注時：4.3L/kg (11,12) 小児：3L/kg (U) 2.7L/kg [iv] (1)

【MW】 430.53

【透析性】 蛋白結合率、Vdともに大きいため透析では除去されにくいと思われる (5) 資料なし (1)

【TDMのポイント】 TDMの対象にはならない 【O/W係数】 620 [1-オクタノール/水系] (1)

【相互作用】 経口イトラコナゾールにより AUC が 1.7~9.8 倍に上昇 (Raaska K, et al: Clin Pharmacol Ther 72: 362-369, 2002)

【更新日】 20211202

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。